



両親からの挨拶

この度は、私達の息子『田子蓮樹』の海外心臓移植のため、多大なるご理解ご支援ご協力頂き誠にありがとうございました。

蓮樹は渡米直前に容態が急変してしまい2月3日午後8時に、大好きな人達に見守られながら大好きな母親の腕の中で静かに息を引き取りました。

渡米し移植手術を受け元気になった蓮樹を見ていただき蓮樹を一人前に育てることが皆様への恩返しと思っておりましたが、その願いも叶わず大変残念でなりません。蓮樹は、生まれて3ヶ月の時に入院して以来、幾度となく生命の危機にさらされてきました。しかし、最後まで決して諦めることなく一生懸命生きようと懸命に病氣と闘いましたが、1年4ヶ月という短い人生で生涯を閉じてしまいました。そして、同じ特発性拡張型心筋症で悩み苦しんでいる人が一人でも多く助かり原因究明に役立てて頂ければと、蓮樹の心臓を東京女子医大に献体として提供いたしました。

活動当初、渡航に関し必要とされる莫大な金額に大きな不安がありましたが、本当に多くの皆様のご支援・ご協力に支えられ渡航直前までたどり着くことができました。蓮樹の人生を闘病生活だけで終わらせたくはなかったのですが、蓮樹はたくさんの人に愛され、応援してもらい、本当に多くの方に存在を知ってもらい短い人生でしたが、とても幸せだったと思います。そして、今回の事を通じ移植医療の現状を知ってもらい、いつの日か法の整備が進み子供でも日本で移植医療が出来、日本で助かる命がもっともって増えていきますよう切に願います。

私達も蓮樹に移植医療以外の事でも多くの事を学びました。家族の絆、皆様の温かさ、友達の優しさ、最後まで諦めない気持ち、この他にも本当にいろいろなことを教わり気づかせてもらいました。そんな、蓮樹を私達家族は誇りに思います。まだまだ心の整理が付きませんが、これから私達も蓮樹を見習い前向きにこの悲しみを乗り越えて一生懸命に生きて行きたいと思います。

そして、ここまで蓮樹および私達家族が頑張ったのは、皆様のご理解、ご支援、ご協力があってこそだと心より感謝しております。また、私達家族のために貴重なお時間を費やし、ご心配やご苦勞をお掛けしましたことを心から深くお詫び申し上げます。

尚、皆様から「れんくんを救う会」へお寄せいただいた募金は「れんくんを救う会」にて管理し、運営委員会協議・承認後、蓮樹と同じ移植を待つ患者様に役に立ていく予定です。

本来ならば、お伺いの上お礼申し上げるべきところなのですが、書中もってご挨拶にかえさせていただきますと共に故人生前に対して温かく見守って頂いた事を厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

平成19年2月16日

田子 正人・紀枝